

ミステリーは知性のゲーム

# 赤い影

未来を見てしまった。  
恐ろしい未来を。

監督/ニコラス・ローク ■ 原作/ダフネ・デュ=モーリア  
撮影/アンソニー・リッチモンド ■ 編集/グレアム・クリフォード  
音楽/ピノ・ドナジオ ■ 製作/ピーター・カット ■ 配給/ヘラルド・エース/日本ヘラルド映画  
ジュリー・クリスティ/ドナルド・サザーランド  
ヒラリー・メイスン/クレリア・マタニア/マッシモ・セラート  
イギリス映画/アングロ=イタリアン・プロダクション製作/カラー作品/1973年作品/ビスタビジョン

# DON'T LOOK NOW

愛の逆説的な側面である“嫉妬”の残酷な姿を描いた『ジェラシー』で衝撃を与えたニコラス・ローグ監督が、今度は凄まじい恐怖に満ちた作品を作り出した。ロンドンで公開されるや「N・ローグの最高傑作」(タイムズ紙)「ヒッチコック・タッチのサスペンス」(サン紙)と絶賛を博したのがこの「赤い影」である。

冬のベニス——。娘を誤まって水死させたイギリス人夫婦、ジョンとローラの二人が仕事を兼ねて水の都にやってきた。ある時知り合った二人の婦人。一人は盲目の霊媒師でジョンに向かって「ベニスを去れ」という。それ以来、彼の身の周りに次々起こる奇怪な事件。そして、ついにベニスの街に死んだはずの娘の姿を見てしまった……。

原作はヒッチコックの『レベッカ』『鳥』の作者として有名なサスペンス作家ダフネ・デュ=モーリアの短篇「今、見てはだめ」。『レベッカ』のように人間の心理を激しく追いつめてゆく描写はこの作品でも鋭く發揮されている。だからこそ、独自の映像世界を創り出すローグが魅かれたのもよくわかるというものだ。

出演は夫のジョンに『マッシュ』『カサノバ』等で幅広い演技力を証明した دونالد・サザーランド。彼のもつ一種狂気にも似た目つきや物ごしがこの作品でも異彩を放っている。そして相手役には『ドクトル・ジバゴ』のララ役で世界的女優となったジュリー・クリスティ。彼女の美しさもさることながら、サザーランドとのベッドシーンも話題を呼んでいる。



# DON'T LOOK NOW



奇妙な二婦人にはヒラリー・メイスンとクレリア・マタニア。そしてイタリア映画界の名脇役マッシモ・セラートが脇を固めている。

撮影はアンソニー・リッチモンド。彼はローグ・ファミリーのひとりで、『地球に落ちて来た男』『ジェラシー』も担当している。音楽にはピノ・ドナジオ。『殺しのドレス』『ミッドナイト・クロス』同様、華麗なメロディを作り出し、雰囲気を高めている。

(上映時間 1 時間 50 分)

## 物語

考古学者のジョン (ドナルド・サザーランド) と妻のローラ (ジュリー・クリスティ) は二人の子供を連れて休日を別荘で過ごしていた。ジョンは仕事の準備をしている時、突然何かを感じて外に飛び出した。外では子供たちが遊んでいるはずだ。だが彼の見た光景は池の中に沈みかけている娘の赤いレインコートだけ。彼が助け上げた時、既に彼女はこと切れていた……。

あれから数ヶ月。あの日の悪夢を忘れさせることもあって、ジョンはベニスの仕事場に妻を同伴した。だが、そこで知り合った二人の婦人が彼らに災いをもたらした。一人は盲目の霊媒師で「あなたの娘が赤いレインコートを着て、あなたの方の間で笑ってましたよ」と言い出したのだ。そして時同じくして、連続殺人事件が発生してベニスの街は恐怖に包まれた。

いったい、彼女たちは何者なのか。本当に娘は生きているのか。

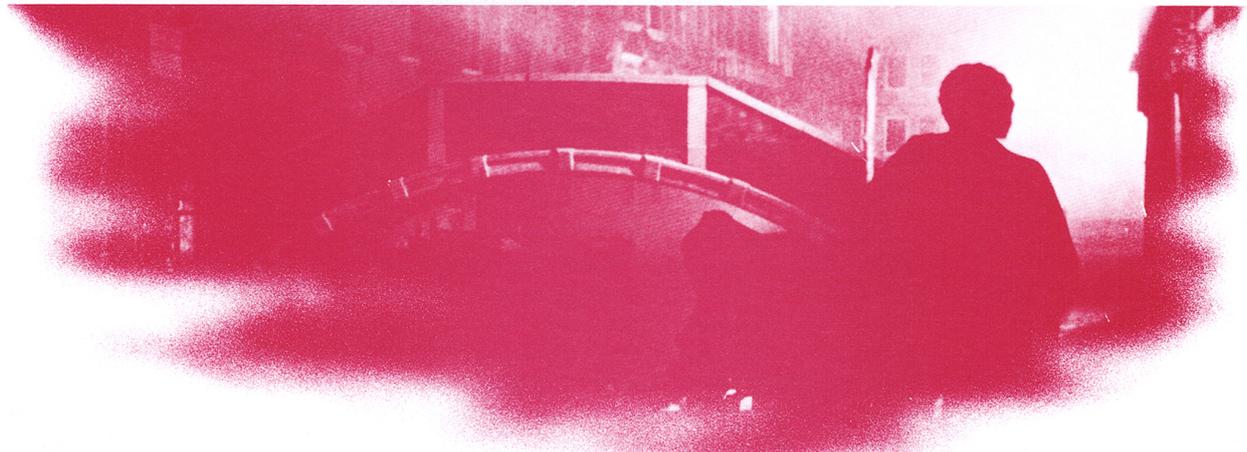
彼らは迷路に落ち込んでいった……。

監督/ニコラス・ローグ  
原作/ダフネ・デュ=モーリア  
脚色/アラン・スコット  
クリス・ブライアント  
撮影/アンソニー・リッチモンド

# 赤い影

美術/ジョヴァンニ・ソッコル  
編集/グレアム・クリフォード  
音楽/ピノ・ドナジオ  
製作/ピーター・カツ  
配給/ヘラルド・エース 日本ヘラルド映画

ジュリー・クリスティ/ドナルド・サザーランド  
ヒラリー・メイスン/クレリア・マタニア/マッシモ・セラート  
イギリス映画/アングロ=イタリアン・プロダクション製作/カラー/1973年作品/ビスタビジョン



次回ロードショー

特別鑑賞券 ¥1200(当日 ¥1500均一の処)発売中

シネマスクエア  
とうきゅう

●新宿コマ劇場向いミラノ座横3F ☎(232)9274

全席自由定員制/入替制

連日 12:00 2:20 4:40 7:00